

1 稲穂、息災なようで何よりなのじゃ。ところで貴様らは何を……？

ど、どうぞ。粗茶、なのじゃあ。

うむ、では頂こうかの。

ずずっ。うむ、うむうむ。

それで、御角様。こたびは、どのようなご用件なのじゃあ？

まあそう焦るでない、稲穂よ。

それにしても貴様、相変わらずちんまいのう♡

乳ばかりは、余に伍するほどに立派じゃがな。

きよ、恐縮なのじゃあ。

それであの、本題について伺いたいのが。

ふむ？せっかちじゃのう。まあよい。

さて、稲穂。貴様が雪香と共に。

カミを務める、この村であるが。

は、はいなのじゃっ！

狐に狸、犬の耳。

どうみても人の子ではなく、カミの子ばかり。

これは一体どういうことかの？

それは、そのお。

わっちがカミたる身であるにも関わらずッ！

姉上のみならず、他のカミも巻き込み。

こ、この♡

うむ、隣に座っておるそやつじゃな？

仰る通り、愛する坊にッ♡

ややこを、もうポンポン♡

たあくさん、お貢ぎしてしもうたのじゃっ♡

じゃが坊に非は無いのじゃ、御角様！

全てはわっちの不徳にてっ！

うむ？何を謝っておるのじゃ稲穂。

貴様を責める気など、一向に無いぞよ？

むしろ。

ほへっ？

誠に大儀である。

この村は、信仰心と子宝に満ちておるのじゃ。

人の子だろうが、カミの子だろうが。

余の宝には変わり無いじゃろう？

貴様は大層励んでおる。

余は、誇らしく思うぞよ。

へ、へへえ？

あゝ ヒイゝ ンッ♡

ぼ、坊っ♡今らめっ♡

乳蜜搾っちゃっ♡もおゝ ～ッ♡

おお、乳先から信仰心がっ！？

溢れるほどに、どころか。

実際嘔いてしまっておるのう。

ふ、ふへえっ♡

おゝ ッ！？おゝ ッおゝ ッ♡おゝ ～ッ♡

ぼ、坊らめっ♡しよれもっとらめっ♡

御角様の目の前で、わっちイくっ♡

イッちやうゝ ～ッ♡

ふむ、イく？

どこに行こうというのじゃ稲穂よ。

あゝ ッ無理ッ♡我慢無理なのじゃあっ♡

イくっ♡イくイくッ♡イッぐうゝ ～ッ♡

はひいゝ へっ♡はっひいい♡

へっ♡へっ♡

ふむ？良くわからぬが。

仲が良さそうで何よりじゃの。

稲穂も幸せそうに、舌まで大層伸ばしておる。

み、御角♡しゃまあ♡

もしやと思うのじゃが、子作りについてご存知かの♡

これ稲穂、子作りなどと。

昼間から言う物ではないぞえ？

ややこをこさえるのは、褥で密やかに、じゃろ？

具体的には、どうするのかの♡

余にそのようなことを言わせるつもりかえ？

誠に不遜。じゃが、人の子の手前じゃ。

竜神として、余が教えてしんぜよう。

良いかの？まず、抱き合って。

せ、接吻を。じゃな♡

ややこはどこから来るのかの♡

もうっ！少々踏み込み過ぎじゃぞ！？

コウノトリが運んでくるに決まってるじゃろっ！

坊、ちょっと良いかの♡

御角様は、大年増な割に。

大層お耳が、年増でないご様子♡

ゆえに。わっちのわるうい、狐らしい所♡

坊にお見せして、この偉そうな雌を。

たあつぷりと、食い散らかさせて差し上げるからのう♡

これ、余の前で、人の子なぞと内緒話とな？

稲穂よ、不遜を連発し過ぎなのじゃ。

良いかの。

余が少々甘いからと言って、調子に乗るでない。

うむ、申し訳ないのう♡

時に御角様、これをご覧になって頂きたいのじゃ♡

ヒッ！？な、なんぞそれっ！

人の子が、そのような物を股間に生やしておるなど！

余の知見に無いのじゃ、それはなんじゃ稲穂っ！

これは、ちんぽと申す物♡

信仰心の出どころとも言えるのう♡

ほ、ほほう。珍宝とな。

また、大層な名前じゃて。

それに、信仰心とな？

にしては、些か凶悪なカタチをしておる。

ヒッ！？ちゃぶ台の上で跳ねおったっ！？

おや、どうやら興味津々なご様子♡

では坊よ、さらに近づけるのじゃ♡

思い切って鼻先一寸まで。ずずいと♡

ぬあっ！？近すぎなのじゃあっ！

まったく。すん。すん？すんっ♡

あゝッ臭いッ♡臭いのじゃあっ♡

これが生の信仰心の香りっ♡ふがっ♡ふがふがっ♡

臭いのにい♡

何やら頭が痺れて、腹の奥がキュンキュンするのじゃあ♡

なんと♡申し上げてもおらぬのに。

自主的にチン嗅ぎとな♡

しかも無知なわりに、大きな身体がムチムチと悶えておる♡

竜神様とあろう者が、坊のちんぽに媚びたあい♡

そう、全身で表現していなさるぞよ♡

こ、媚びる？余が、人の子なぞに？

戯けたことを申すでないぞ♡

まったく。すん、すんっ♡

んぶおゝッ！？

おお、御尊顔を叩かれてしもうた♡

じゃが、致し方なきこと♡

怒ってはなりませぬぞ、御角様♡

むしろちんぽの方がお怒りゆえ。

ご機嫌を取らねばならねばならぬかと♡

よ、余の美貌をひっ叩いた挙句に機嫌を取れとなっ！？

おのれ、珍宝とやらめ♡なんたる増上慢♡

あまり調子に乗ると、天罰を下すぞえ♡

ま、まあそれはそれとして。どうすればよいのかの♡

ううむ。あまりにチョロい上に素直。

何やら、罪悪感まで感じてきおったのう。

じゃがこれも坊のため。心を鬼にするのじゃわっち♡

何をごちゃごちゃ抜かしておるっ♡

さっさと教えぬか稲穂っ♡くんくんっ♡

わかったのじゃ♡では、まずの。

信仰心がたっぷり詰まったキンタマを。

優しく揉みほぐして差し上げるのじゃあ♡

こ、こうかの♡ぬおゝッ♡

重いッ♡確かに詰まりまくっておるっ♡

しかも珍宝が、ますます怒ってしもうたのじゃあっ♡

うむ♡御角様の御尊顔どころか。

竜神たる証♡

角まで超えるほどに、そそり勃ってしもうたのう♡

ならば両手で包んで差し上げて。

先端から根本まで、ごしごしと♡

こ、こうっ♡あゝッ♡あゝッ♡あゝッ♡

なんたる太さッ♡脈動も凄まじいつ♡

もはや、威厳すら感じるのじゃッ♡

す、すまぬっ♡人の子っ♡

余、懸命に励むゆえッ♡

御角様。

手で足りぬのなら、頬なども使った方がよいかと♡

それもそうじゃっ♡

さすがは稲穂、冴えておるっ♡

んぶっ♡んぶぶっ♡

こ、これでどうじゃ♡珍宝とやらっ♡

満足いただけておるかえっ♡

お返事せぬかこやつめっ♡

さっさと余に、信仰心を貢ぐのじゃあつ♡

んぶっ♡んぶぶうゝ ～ッ♡

な、なんたる信仰心ッ♡凄まじい量じゃあつ♡

余の角の先から爪先まで、念入りに♡

ブッ掛けられておるう～っ♡

おお、流石じゃの♡

じゃが、ダメじゃぞ御角様♡

坊のちんぼは、信仰心を出し足りぬと申しておる♡

ひんっ♡ひいいんっ♡え、えいつ♡

ならばさらに、ゴシゴシなのじゃっ♡

んぶっ♡んぶぶうゝ ～ッ♡

2 こ、これが下界のしきたりとな？ならば共に励もうぞ♪

ひ、ひいつ♡ひいいんっ♡

おやおや、どうしたのかの御角様♡

も、もう余は無理なのじゃ稲穂よ♡

幾ら手でシゴいても、頬を擦り付けても無駄じゃあ♡

何度信仰心を出しても、そそり勃ったまま♡

濃厚でくっさい信仰心で、悪酔いしてしもうたぞよ♡

うむ♡坊の信仰心が尽きる訳もなし♡

乳谷間にまで、溜まってしまっておりますのう♡

じゃが、着物越しに信仰心を受け取るなどと。

幾ら御角様とは言え、あまりにも無礼にて♡

ここはほれ、そのような物はビリビリと♡

あっ♡いかぬ、いかぬぞ稲穂ッ♡

余の玉体、人の子なぞに見せるの駄目じゃあっ♡

というか、何で余の神衣を破けるのじゃ貴様ッ！？

どれだけこの珍宝に、信仰心をブッ掛けられたのじゃあっ♡

それはもちろん、毎日欠かさず♡

たらふく注ぎ込んで頂いておるのじゃ。

のう、坊♡

あゝッひいゝいゝ〜ッ♡

しゅ、しゅまぬう♡坊♡

御角様にばかり媚びさせるなど、カミも嫁も失格じゃてっ♡

ど、どうしたのじゃ稲穂♡

何ゆえに、信仰心を乳から搾られつつ謝っておるのじゃっ♡

こ、これはの♡坊の愛ある躰けなのじゃ♡

馬鹿なわっちの乳蜜搾り、嫁怠慢を反省させてくれておるっ♡

じゃからの、わっちはこうして♡

えいつ♡乳媚びなのじゃあっ♡

あゝッ♡あゝッあゝッ♡

坊にご奉仕しておるのにいつ♡

わっちばかり気持ちいいッ♡

乳蜜が溢れてしまうのじゃあっ♡

もおゝ〜ッ♡

ど、どうかの♡心地よいかの、坊♡

ちゅっ♡ちゅっちゅっ♡はむ、はみゅう♡

い、いかぬ♡いかぬぞ稲穂♡

接吻は、唇同士ですものじゃろ♡

珍宝にするものではないはずじゃ、多分♡

何を言っておるのじゃ、御角様♡

これこそ、由緒正しき乳媚びちんぽしゃぶりの儀♡

信仰心を恵んで頂くための、正しい行為なのじゃあ♡

ちゅっ♡天界の常識を、ここで持ち出してはいかぬ♡

じゃからの♡郷に入らば、その無駄にデカイ乳にい♡

ちんぽを入れよ♡

わっちと共に、坊に媚び倒すのじゃあ♡

ちゅっ♡

し、仕方ないのお〜♡稲穂がそこまで言うのじゃし？

この余が、下界のしきたり如きを。

余裕でこなせぬわけが無いのじゃ♡

ンッ♡こ、これでよいのかのっ♡

全然足りぬのじゃ、御角様♡

もっと必死に、丁寧に♡乳と乳を擦り合わねばならぬ♡

わっちの乳蜜を、搾り倒す勢いでっ♡ほれ、早くう♡

わかったのじゃ、ほれっ♡

竜神の力を思い知るのじゃっ♡

おゝッひいゝ〜ッ♡

しよ、しよの調子なのじゃあっ♡

ふふん♡容易いことじゃて♡

あゝッ♡これっ♡

角をヨシヨシするでないっ♡

それ、竜神の証じゃぞお♡大事な場所♡

人の子なぞが、気安く触れてよいものでは♡

ンッぴいゝ いゝ ～ッ！？

おや。やってしもうたのう、御角様♡

乳媚びちんぽしゃぶりの儀の最中のみならず。

坊はいつでもわっちらの、どこでもお触りし放題♡

それもまた、下界におけるしきたりじゃて♡

じゃから、乳首を抓られた程度で乳媚び止めてはならぬ♡

でなければ、ほれ♡

おゝッおゝッ！？おゝ ～ッ♡

らめっ♡らめらめっ♡

しよこっ♡お小水を出す場所なのじゃっ♡

人の子が、指を抜き差しする場所に非ずッ♡

余のほと、ほちくり回すのらめっ♡

抜いてッ♡抜いてえゝ ～ッ♡

違うぞよ、御角様♡

そこはほとではなく、まんこと申すのじゃ♡

そして、用途もちろん違う♡

坊が、ワガママ放題にい♡

指もちんぼも突っ込んで、思うさまに遊び尽くす場所じゃてっ♡

のっほお”お” ～っ♡こ、このようにい♡

むしろおおいに嬉しがり、まんこを差し出さねばならぬう♡

あゝ ツイぐっ♡イクイクイツぐっ♡

あゝ ツひいゝ いゝ ンっ♡こ、こうかえっ♡

ぬっひよおゝ ツ♡

来るっ♡

知らないの来ちゃうのじゃあっ♡

や、やれやれ♡

手間のかかる竜神様じゃのう♡

来るのではなく、イク♡

坊の指を有難く食いしばり。

感謝の念を籠めつつ、そう申し上げねばならぬ♡

ほれ、馬鹿乳おおいに押し付けつつ。

思いつきり叫ぶのじゃ♡

わ、わかったのじゃっ♡

あゝ ツ♡イクっ♡

イクっ♡イクイクっ♡

余、イツぐうゝ ～っ♡

あゝアゝ ッひいゝ ～ッ♡

わ、わっちもまた♡

イかせて頂いてしもうたあ♡

カミが二人掛かりで、なんというありさま♡

坊もお射精してくれたとは言え。

これはお詫びをせねばならぬ♡

そう思わぬかえ、御角様♡

た、確かにい♡

余、全然しきたりに従えなかったのじゃ♡

多分♡

教えてくりゃれ、稲穂♡

余はこの人の子に、どのように詫びればいいのかの♡

その戯言ばかりを居丈高に抜かす、お口を塞げばいいのじゃ♡

負けました♡

もう坊に決して逆らわぬ♡

何をされても大歓迎♡

その全ての念と、真心を籠めて。接吻を捧げまくるのじゃ♡

な、なるほど♡ちなみに、どこにかのっ♡

は？頭わるわるにも程があるじゃろ。

その角は飾りかの。

まさか、唇同士とでも思ったかえ？

ば、暴言に遠慮が無さ過ぎなのじゃあっ！

それに、唇ではない？

ならどこなのかの♡まさかつ♡

ちんぽじゃ、ちんぽ♡

唇同士の接吻は、嫁たるわっちの特権にて♡

四の五の言わずに、その長すぎる人生初の接吻を。

淫らに惨めに、坊のちんぽにお捧げするのじゃ♡

それとも、アレかの？

また乳媚びしつつ、まんこをほちくって頂くのがお望みかえ？

ひんっ♡アレキツイのじゃっ♡

あまりの快樂に、脳が吹き飛ぶかと思うたぞえっ♡

おや、あの程度でそれかえ♡

いかぬぞ、御角様。

恐らく、次は手加減してもらえぬ♡

泣いても叫んでも、指をズボズボされまくるのじゃ♡

ひいつ♡許してっ♡許してくりゃれっ♡

ほれ、余。お利口さんに珍宝に接吻するゆえ♡

で、では♡んちゅっ♡

うむ♡わっちもちゅ～♡

ンむおゝ ～ッ♡

ンッひいゝ いゝ ～ッ♡

3わからされてしもうたっ♪カミでも絶対、珍宝には勝てぬのじゃっ♪

あゝッ、あゝヘッ♡ひいつ♡

おや、ついに粗相まで♡

なんという竜神様じゃ。

同じカミとして、恥ずかしすぎるのう♡

仕方なからう♡余、悪くないモンッ♡

この駄狐め、後でお仕置き確定なのじゃあっ♡

ふふ〜ん♡まだそんな口が叩けるのかえ♡

のう、坊♡御角様がのう♡

もっと舐けて頂きたいと申しておるぞよ♡

そ、そのようなコト言うておらぬっ♡

なんでもするゆえ許して♡余のまんこ助けて♡

のう、人の子♡ちゅっ♡ちゅっちゅっ♡

ふむ？その熱心さを見るに、大層効いたようじゃのう♡

では次の作法に移るのじゃ♡

う、うう♡コレ、作法と言うか脅迫じゃろっ♡

人の子の威を借る狐めがっ♡

して。余は次は、どう珍宝に媚びればよいのかの♡

御角様の玉体は、もう信仰心で全身くまなくドロッドロ♡

わっちより余程に大きいのに、情けないのう。

みっともないのう♡

し、仕方ないじゃろお〜っ♡

余は、生の信仰心は初めてなんじゃからっ♡

それに、こやつの珍宝はご立派が過ぎる上にい♡

まだまだ元気で、びっきびき過ぎるのじゃあ♡

おお、よい目のつけどころじゃのう。

御角様♡

そう、初めてなのが問題じゃ♡

そして、外が駄目なら中じゃて♡

余は回りくどいのは好かぬ。

具体的に申すがよいつ♡

では遠慮なく♡

その、蜘蛛の巣の張ったあなっぼこでの♡

まずはちんぽに接吻し、そのまま腰を下ろしてえ♡

しかる後に、思いっきりどっちゅんどっちゅん♡

坊のちんぽで、その竜神まんこを坊専用の男子便所♡

おっと、間違えてしもうた♡

信仰心のコキ捨て場として、自ら舐けまくるのじゃあ♡

無茶を申すでないっ♡

だいたい意味はわからなかったが、余とてコレだけはわかる♡

絶対無理♡不可能なのじゃっ♡

指でもあんなにキツかったとゆうのにい♡

ふうん？まさか、御角様ともあろう者が。

わっち如きが出来ることを、出来ぬじゃと？

竜神失格過ぎて、大爆笑なのじゃあ♡

嘘を申すな♡

貴様のかわゆい身体で、そんなコト出来る訳なかる♡

余はそのような戯言、絶対信じないんじゃからのっ♡

本当じゃも〜ん♡のう、坊♡

ほれ、くばあ♡

あゝッ♡稲穂がちっちゃなまんこを見せつけた途端につ♡

いつものように、奉仕せよとばかりに。

とんでもなくビッキビキ♡何という説得力じゃっ♡

なるほど、これは本当かもしれぬなっ♡

じゃろ♡なので御角様。

その無駄に長いおみ足を、こうがあつぱりと開いてえ♡

こ、こうかのっ♡

うむ♡あ、手は使っちゃダメじゃぞ？

自分の角でも握っておれ♡

ぐう、作法が厳しいっ♡

あゝッ♡珍宝がもっと大きくうっ♡

良かったの♡お気に召したようじゃぞお♡

はあ、はあっ♡

ち、珍宝怖いッ♡

余、死んじゃうッ♡

うむ、泣き言は禁止にて♡

ではいよいよ、まんこで接吻を捧げねばの♡

ほれ、思いっきりどうぞなのじゃ♡

け、乾坤一擲いつ♡セイッ！

ぬおゝッ！？ひよおゝ～ッ♡

へうゝッ？あれっ？ち、珍宝♡

一気に刺さってッ！？

あゝッイぐッ♡イツてりゅうゝ～ッ♡

おお、なんと。まずは接吻と申したのに。

捧げた途端に腰を抜かして。

即どっちゅん、してしもうたのう♡

じゃが、悶えておる場合では無いのじゃあ♡

腰を振らぬか、御角様♡

む、むりっ♡ムリムリッ♡

イッぐっ♡イきっぱなしにやのおゝ ～ッ♡

た、たしゅけて稲穂っ♡後生じゃからっ♡

珍宝から、余のまんこ抜いてっ♡抜いてえゝ ～ッ♡

ううむ。また泣き言とはのう♡

まあ初めてじゃし致し方なかる♡

では.....うむ。

残念ながら、わっちの細腕では持ち上がらぬのう♡

しよ、しよんなあっ♡

なくなりゅっ♡余のまんこ無くなっちゃう～っ♡

じゃが、ここで朗報じゃ♡

御角様には、わっち以外にい♡

信仰心がキンタマに満ちた、頼れるお方がいらっしゃるじゃろ♡

なるほどっ♡えへへ、おねがぁい♡

人の子。

おゝ ツ♡

ごめんなさいっ♡人の子様あつ♡

余のまんこ助けてツ♡珍宝抜いて欲しいのじゃあつ♡

うむ、上手におねだりできたのう♡

ならば坊よ♡お望み通りにして差し上げるが良い♡

や、やったツ♡コレで余、助かるのじゃあ♡

えへへ、人の子様よ♡大儀である♡

おゝ ～ッ！？

おゝ ツおゝ ツ♡おゝ ～ッ♡

ち、ちがつ♡抜くだけじゃからあつ♡

挿すのはらっめっ♡

イクツ♡イきまくりゆうゝ ～ッ♡

にゅふふ♡坊はちゃあんと、抜く準備をしておる。

キンタマの中身。

信仰心ではなく、子種汁を。

御角様のまんこでの♡

ちなみに、コレが真の子作りじゃて♡一つお利口さんになれたのう♡

へうゝ うゝ ツ！？

う、嘘じゃろ稲穂ツ♡子作りじゃとおつ♡

のっほおゝ ツ♡らめっ♡

人の子様♡余、稲穂なんかよりい♡

すんごくとっても偉いんじゃぞおっ♡

じゃから禁止♡子作り中止♡

坊♡御角様は、こう申しておるが。

そら、ちんぽでお返事してやるが良い♡

おゝ ツ！？あゝ ツごめっ♡

ごめんなさいっ♡今度は余が嘘つきましたあっ♡

人の子様のややこを、いっぱい恵んで頂きたいのじゃあっ♡

だから許して♡ほアゝ ツ♡ほあゝ アゝ ～♡

うむうむ♡例え竜神たる御角様でも。

坊のちんぽには決して勝てぬと、わかったようで何よりじゃ♡

では、坊♡トドメと行こうぞ♡

ほれ、びゅ～っ♡びゅ～っ♡

にゅおゝ おゝ ～♡おゝ ツひいゝ ～♡

子種汁あぢゅいつ♡余のナカに、びゅるびゅる♡

溢れるほどに、注ぎこまれておりゅうゝ ～♡

そしてほれ、ずっぽおん♡

ほおゝッ！？ヒョオゝオゝ〜ッ♡

ほれほれ、御角様♡

きちんと坊にお礼を言わぬか♡

それとも今すぐ、もう一回がお望みかえ？

あ、ありがとうございますなのじゃっ♡

心より感謝するのじゃ、人の子様あっ♡

うむ、それでよい♡時にの、坊♡

まだ少々、ちんぽが不満なように見受けられるぞよ♡

ここは慣れ親しんだわっち♡嫁のまんこで、お子種どっぴゅん♡

満喫するべきだと思うんじゃが、どうかのお♡

ンもおゝ〜ッ♡しゅまぬっ♡

聞くまでも無かったのじゃあ♡

え、御角様に手本？

それはちと♡その♡

あゝッひいゝッ♡わかったのじゃっ♡

坊の仰せの通りにいつ♡え、えいつ♡

ぬおゝッ♡ひいゝ〜ンッ♡

おや、どうしたのかの稲穂♡

先ほどの余以上に、ちんまい身体がビクビクと♡

まさか、ソレで終わりのハズはないじゃろ？

しゅ、しゅまぬう♡

そのまさかなのじゃ、御角様あ♡

わっち、嘔吐いたのじゃ♡

腰なぞ到底振れはせぬ♡

うむ。気付いておった。

ちゃんと謝れて偉いのう♡

許してしんぜよう、感謝するがよい♡

え、えへへ♡ありがとうなのじゃあ♡

じゃが、残念ながらの？

人の子様の珍宝が、貴様を許すかどうかは別の話じゃて♡

おゝッおゝッ！？おゝ〜ッ♡おゝ〜ッ♡

い、いかぬっ♡坊のちんぽがお怒りじゃあっ♡

御角様などに、子種汁をコキ捨てさせたことをおっ♡

ややこ部屋が叱りつけられておりゅっ♡

のっほおゝッ♡

ご、ごめんなさいなのじゃっ♡

坊許してっ♡ほおゝッひいゝ〜ッ♡

うむ、一目でわかるぞよ♡こっちが真の子作りじゃあ♡

稲穂のちんまい身体を抑え込み、鬼のようにネジ込みまくり♡

カッコいい♡益荒男過ぎる♡

その調子で、悪い狐をやっつけるのじゃあ♡

へうっ？ハメ比べ？

余にもまたまんこ出せ！などとお♡

えへへもちろんっ♡大歓迎なのじゃ人の子様あつ♡

ンおゝ オゝ ツ♡のおゝ ツひいゝ いゝ ～ツ♡

おゝ オゝ ツ！？へえゝ エゝ ～ツ♡

また珍宝来たツ♡あゝ ツさつきよりちゅよいつ♡

おゝ ツおゝ ツちぬっ♡死んじゃうゝ ～ツ♡

ぼ、坊こっちっ♡わっちの方があツ♡

坊のややこを、いっぱい欲しがっておるぞよ～♡

ぬうゝ ツひよおゝオゝ ～ツ♡

おゝ ツほおゝ ツ♡はひっ♡

ここでぎゅうっ♡そしてびゅうなのじゃあつ♡

にゅおゝ オゝ ～ツ♡来たのじゃあつ♡

坊の濃厚子種汁うっ♡幸せいっぱい来ちゃうのっほおゝ～ツ♡

い、勢いが。余の時とは違い過ぎるう♡

さすがは稲穂じゃ、この愛され上手めえ♡

では、余も少しでも追いつくべく。

まんこをもっと舐けて頂かねばの♡

のう、人の子様あ♡んふっ♡

4 お預けなんてダメなのじゃっ♪余にも媚びさせてくれねば許さぬぞっ♪

ああ、坊♡

わっちとっても幸せなのじゃ♡

坊はどうかの？ンおゝ オゝ ツ♡

ち、ちんぽでお返事など♡まったくもう♡

えい、お仕置きのちゅ～なのじゃっ♡

ちゅっ♡ちゅっ♡

い、稲穂めえ♡

最近ずっと、ソレではないかえ♡

んちゅっ♡どうしたのかの、御角様♡

それとは何かの♡具体的に仰るのじゃ♡

余に見せつけるように、人の子様に抱き着きながら♡

まんこを珍宝の、入れ物にしてもらいっぱなしではないかえ♡

おまけにおくち同士で、ちゅっちゅちゅっちゅとっ♡

余はそっちの接吻はまだなのにつ♡

にゅふふ♡

ちんぽへの接吻は、大層上手になったののう♡

じゃがいかぬぞ、御角様♡

これは嫁たるわっちの特権、では無いのじゃ。

残念なことなのう。

でも御角様はお預けじゃ♡

理由についても、ちゃんと教えて差し上げたじゃろ♡

た、確かにい♡

急に押し掛けた余が悪い♡

しかし、知らなかった故仕方ない♡

貴様らが、他のカミどころか。愛娘まで追い出してえ♡

夫婦水入らず。稲穂にばかり♡

ややこを産ませまくる、愛ある行いの真っ最中など。

竜神たる余の目でも、見抜けるわけないじゃろお〜♡

知らなかったでは済まされぬぞ、御角様♡

じゃが、坊は寛大じゃあ♡

竜神まんこをちんぽ専用のコキ捨て穴♡

そのように舐めるだけで、許してくださったのじゃ♡

優しい坊に感謝しつつ、成果をお見せせねばのう♡

ひんっ♡確かにその通りじゃっ♡

では、ご覧になってくりゃれ。

人の子様っ♡

余の惨め過ぎる、竜神失格にて謝罪の念たっぷり♡

徹底的に己を責める、ごめんなさいまんこほぢりをのっ♡

あゝッあゝッ♡あゝ〜ッ♡あゝ〜っ♡

うむうむ♡非常に無様でみっともない♡

嫁たるわっちは考えたことも無いのじゃ♡

坊の目の前で、己のまんこを慰めるなどと♡

可哀そうじゃのう、哀れじゃのお〜♡

ほれ坊♡感想でも、言うてやるがよい♡

おゝッ！？またちんぽ♡おつきくうっ♡

い、稲穂おっ♡あゝ ひいつ♡

貴様の上司が、人の子様の物たるここっ♡

まんこを浮気させておるのじゃっ♡

あゝ ツイぐッ♡

ば、坊の手以外で身勝手絶頂に達するなどとっ♡

あゝ ひいつ♡ふう、ふう♡

この失態、嫁として代わりに詫びねばならぬ。

そうは思わぬあゝッあゝッ♡

またイクっ♡イツぐうゝ〜ッ♡

や、やりすぎじゃぞ御角様っ♡

わっちが折角貢いだまんこを、浮気させ過ぎなのじゃっ♡

そんなの、坊のちんぽが怒っちゃうじゃろっ♡

ンもおゝ〜ッ♡う、腕にムカつき籠っておるッ♡

ご機嫌取るのじゃ、今すぐにいつ♡

おゝッおゝッ♡

少々力を緩めるのじゃ、坊ッ♡

これではロクに、どちゅどちゅ出来ぬッ♡

わっちのややこ部屋に、反省促せぬじゃろお〜っ♡

は、反省があっさいのう稲穂っ♡

余の方が、よっぽど深い♡

おゝッ♡ほ、ほれえ♡

ますます指がずうっぼし♡

ちっちゃな狐なんぞより、珍宝ふっかくブッ挿せそうじゃろっ♡

じゃから交代♡人の子様あ♡

稲穂なんかポイ捨てなのじゃあっ♡

御角様如きに、わっちが負けるわけないのじゃっ♡

そして、嫁が例え動けなくとも♡

このように、ちゅっ♡んちゅっ♡

おゝ〜ッ♡おゝ〜っ♡坊優しいッ♡

おねだり接吻、お返事どちゅどちゅうゝ〜っ♡

ちゅっ♡んおゝッ♡

んちゅちゅちゅっ♡んむおゝ〜ッ♡

あ、ああっ♡なんと逞しいのじゃあっ♡

必死コイて抱き着かせ、接吻捧げさせながらっ♡

己の腰ではなく、稲穂を丸ごと上下に振って珍宝ずぼずぼっ♡
アレに比べれば、余の指などカスそのものよっ♡

ひ、人の子様あ〜んっ♡
土下座するゆえ、余にもそれしてっ♡
接吻しながら、珍宝ッ♡ちんぽお〜ッ♡

お願いなのじゃ、この通りいっ♡

ンむうゝ 〜ッ♡むおゝ オゝ ャ♡
ちゅっ♡ちゅっちゅっ♡

えへへ坊、お射精感謝♡
今日もい〜っぱい♡嫁にお子種♡
恵んで頂き、幸せなのじゃ♡
でも足りぬじゃろ♡こ、このまま次をお♡

おゝ オゝ ャ！？へえゝ エゝ 〜ッ♡

あゝ ャ♡もしかしてっ♡
余のまんこを、使ってくれる気になったのかえっ♡
んぶおゝ ャ♡角を踏んづけて、お返しいっ♡
あゝ ャ♡屈辱なのにイくッ♡
凄いのがキマっちゃうのじゃっ♡のっじゃあゝ 〜ッ♡

え、えへへえ♡人の子様、ご協力感謝♡

まんこの準備、整ったのじゃあ♡

早速、はよっ♡はようっ♡

ううむ。もはや頭の中身が子種汁♡

立派なハメ乞い上手に仕上がったのう♡

む？坊♡こ、これは例のアレかえっ♡

わっちは決してされぬけども♡

姉上たちが、たまにしてもらってえ♡

泣いて喚いてヨガリ狂う、鬼の所業♡

こんどおむアナル寝バックじゃなっ♡

な、なんじゃそれ？言ったであろう。

余は横文字は、大の苦手じゃ。しかもお♡

頭を高くする訳にもいかぬから、確認もできぬじゃろ♡

代わりに尻を上げろとな？わかったのじゃ♡

お` お` ツ♡！？ひよお`オ` ～ツ♡

ち、ちがつ♡しょこっ♡ご不浄のあ` ツ♡

にやあ` ア` ～ツ♡お` ヒあ` ヒツ♡

う` う` ツ♡ほお` オ` ～ツ♡

う、ううむ♡

全体的に大きい分、他より大迫力じゃのう♡

抜き差しするたび、尻がキンタマでシバかれ脚がっぱり♡

裏から、しかもゴム越しにい♡

ややこ部屋をド突かれっぱなしじゃて♡

ちなみに御角様、参考までに。

ご感想をどうぞなのじゃっ♡

おゝ ～ッ♡おゝ ～ッ♡

けちゅっ♡けちゅあな壊れるッ♡

ややこ部屋もちゅぶれるっ♡

ぺったんこにされておりゅっ♡

おゝ オゝ ッ♡ほおゝ オゝ ～ッ♡

うむ、辛抱せい♡

坊のキンタマの御都合が最優先じゃ♡

しょ、しょんなあっ♡

のっほおゝ ッ♡

ま、そろそろええじゃろ♡

ほれ坊、びゅ～っ♡びゅ～っ♡

ほあゝ ッ♡ほあゝ アゝ ～ッ♡

けちゅっ♡けちゅあぢゅいっ♡

尻で孕むッ♡ややこがぶくぶくッ♡

けちゅの中で膨らんじゃッ♡

のっほおゝ ～ッ♡

それは、ややこではないぞよ♡

ほれ、坊♡抜いて見せてやるがよい♡

ンおゝ ッ♡ひよおゝオゝ ～ッ♡

けちゅあなめくれてっ♡なんか出たァっ♡

な、なんで余ッ♡尻なぞで、産みの悦びいつ♡

んふっ♡ご立派な物が出たのう♡

もうパンパンで、みっちみちじゃて♡

あ、坊♡もしやそれを、ヒエッ♡

あゝ ッ♡

つ、角重いッ♡

なんぞコレッ♡

こ、こんどおむを竜神の証♡

角に結ぶなどと、まさにカミを畏れぬ所業じゃてっ♡

怒ってはおらぬかえ、御角様？

う、嬉しいのじゃあっ♡

余の不浄の穴などで、こんなに子種汁たっぷりなどっ♡

感謝の極みッ♡人の子様だいしゅきなのじゃあっ♡

あ、問題無いようじゃの？では、坊♡

もう片方の角にも、括りつけてやらねばならぬのう♡

おゝ おゝ ッ！？ひよおゝオゝ ～ッ♡

5 貴様に決して逆らぬからあっ♪飼って欲しいのじゃ主様っ♪

もっと激しくなのじゃ、御角様♡

ほっ♡ほっ♡ど、どうじゃっ♡

上手く踊れておるじゃろうかつ♡

乳も尻もっ♡

角に結んで頂いた、中身入りもっ♡

見事に踊り狂っておるの♡

このような助平な舞、誰かに見られてしもうたらもう終わり♡

御角様は、もう二度と。

偉そうなお顔を出来なくなっちゃうのう♡

あゝッひいゝィゝ〜ッ♡

こ、これ稲穂ッ♡

そのようなこと言われたらあ♡

もっとやる気もお潮も出ちやうじゃろッ♡

尊厳いらぬっ♡地位も全部ポイ捨てじゃあっ♡

珍宝と子種汁ッ♡ややこばっかり欲しいのじゃっ♡

な、なるほど♡決意は固いようじゃの♡

じゃが、その竜神たる証♡

ご立派な角に、少しでも恥じるつもりは無いのかえ♡

竜神？角？何を申しておるのかえ稲穂っ♡

これは人の子様が、握ったりっ♡

こんどおむを結んで、遊ぶための場所じゃろっ♡

例え圧し折って頂いても、お礼しか言うつもりは無いのじゃっ♡

おゝ ツ♡

またお潮を噴いちゃったのじゃ♡

あと御角様、勘違いはいかぬ♡

優しい坊が、角など折る訳ないじゃろ♡

それに、嫁は足りておるゆえ。

せいぜい犬扱いが関の山♡しかも蓮姫が居るからのう♡

あの駄犬に、先輩風をびゅうびゅう吹かされるの。

気位の高い御角様に、耐えられるか心配なのじゃ♡

わんっ♡わんわんっ♡

おゝ ンッ♡おゝ オゝ 〜ンッ♡

な、なんとっ！？

犬真似しつつ、立ち小便でお返事となっ♡

高い鼻っ柱を引っ込めて、腰ばかりヘコヘコ突き出しておるっ♡

いかぬ、いかぬぞ御角様♡

そのように、いじらしい姿をお見せしてはっ♡

優しい坊が、放っておくはずもっ♡

おゝ オゝ ツ！？ヘエゝ エゝ 〜ッ♡

ち、珍宝来たッ♡大願成就うゝ ～ッ♡

あゝ ャ♡まんこを珍宝入れにしてもらっただけでッ♡

余、イグッ♡イツてりゅうゝ ～ッ♡

もう、坊♡

ちんぽを突っ込んで差し上げるのは、もっと後♡

御角様がハメ乞いの舞を踊り終わったのちに説得。

この村に天界より加護を振らせ。

呼びつけたらすぐ降臨して、まんこを差し出す♡

そのようなお利口龍神となるのを、誓ってからの予定だったじゃろッ♡

な、なんとッ♡

稲穂め、そのようなことを企んでおったのかッ♡

もちろん許可ッ♡

大喜びで余の全てをお貢ぎするの。

今すぐ約束しちゃうんじゃからなッ♡

違うのじゃッ♡御角様ッ♡

坊がわっちの、小賢しい策を投げ捨てた。

今はそういう状況なのじゃッ♡

ふふん♡さすが人の子様、賢いのう♡

貴様の身体と同様、ちっちゃくてかわゆい脳みそ♡

そこから搾った策など、要らぬと申しておるのじゃのッ♡

こ、この馬鹿雌っ♡

脳までややこ部屋になっておる♡

よいかの、これから坊が行うのはの♡

な、何なのじゃ♡

はっきりと申せ♡

おゝッおゝッ!?

おゝ〜ッ♡おゝ〜ッ♡

ああ、始まってしもうたっ♡

御角様の背後から、角を掴んでもう逃がさぬと教えつつ♡

玉体が持ち上がるほどの勢いで、ややこ部屋を叩いてコネて潰しまくり♡

常におなかに坊の子種汁をたあっぷり♡注いで頂きい♡

ややこを孕んでないと落ち着かぬ♡

そんな存在になるまで、決して許してもらえぬのじゃ♡

ンおゝほおゝ〜ッ♡

な、なんとっ♡おゝッ♡

ほあゝッ♡ほあゝアゝ〜ッ♡

それに何の問題があるのじゃ♡

いな、ほおゝオゝ〜ッ♡

そんなん実質嫁じゃろっ♡

光栄過ぎてッ♡

まんこイクっ♡

イッてりゅうゝ ～ッ♡

残念ながら違いのじゃ、御角様♡

坊の嫁は、わっちの決死の懇願の結果。

姉上と氷菓まで。お狐限定となっておる♡

ゆ、雪香はともかくっ♡

氷菓とは誰ぞっ♡ンおゝ おゝ ッ♡

わっちと坊の娘じゃが？

き、貴様ら頭がおかしいのじゃあっ♡

娘が良くて余がダメとか、意味が分からぬっ♡

ぬおゝ ひよおゝ ッ♡

あゝ ッごめっ♡

ごめんなさいなのじゃあゝ ～ッ♡

またお仕置きされてしもうたのう♡

坊のご判断に、異論を申してはならぬのじゃ♡

わ、わかつひやあっ♡

にゆおゝ おゝ ～ッ♡

つ、角を優しくシゴキつつっ♡

ややこ部屋グリグリッ♡

嬉しいのじゃあゝ ～ッ♡

ち、乳についても可愛がって欲しいのじゃっ♡

あゝ ッ♡あゝ ッあゝ ッ♡

人の子様が、余のおねだりを聞いてくれたのじゃっ♡

嬉しすぎてにゃんかでうゝ ッ♡でうゝ うゝ ッ♡

ンおゝ オゝ ～ッ！？

な、何故余の乳からっ♡

乳蜜なぞ出るのじゃあっ♡

どういうことじゃ、稲穂ッ♡

ふ、ふむ？

孕んでもおらぬのに乳蜜とな♡

恐らく、コレはアレじゃ♡

坊にもっと媚びたい♡

信仰心をお返ししたいという、御角様の本音。

それがどっぴゅん♡したのじゃあ♡

な、なるほど？

おゝ ～ッ♡おゝ ～ッ♡

つまり御角様は、もう坊に屈服しておる♡

誠心誠意お願いすれば、嫁ではなく。

オナホとして、媚びさせてもらえるかものう♡

お、おなっ♡ほおゝッ！？

なんじゃそれ、余は知らぬッ♡

詳しく教えるのじゃ、稲穂っ♡おゝ～ッ♡

ダメじゃ♡まずは誓ってもらわねばのう♡

ぜ、絶対貴様。また何か企んでおるじゃろっ♡

かわゆい顔が、狐丸出しになっておるっ♡

そうはいかぬぞっ♡

余は、嫁の方がいいのじゃっ♡

のう、そうじゃろ人の子様あっ♡

余の乳蜜搾ってブッ掛け、女狐めの頭を冷やしてやってくりゃれっ♡

坊♡これ以上嫁を増やしたら、わっち。

ちょっぴり拗ねちゃうかもしれぬのう♡

おゝヒあゝヒッ♡

うゝッひいゝいゝッ♡

また角掴んで、どちゅどちゅっ♡

激しッ♡ひいゝ～ッ♡

わ、わかったのじゃっ♡

余、なるッ♡なりますうっ♡

オナホなるから、許してッ♡

たしゅけてへえゝ ～ッ♡

よし、言質は取ったのじゃ♡

これ以上嫁が増えるのはわっちが許せぬ♡

じゃが、オナホならまあいい♡

響きが全然違うのじゃあ♡

坊よ、待たせてしまって悪かったのう♡

御角様も、己の立場をしかと弁え。

ありがとうございます、人の子様改め主様と。

声高らかに叫ぶんじゃぞお♡

ではほれ、坊。びゅ～っ♡びゅ～っ♡

おゝ オゝ ッ♡ほおゝ オゝ ～ッ♡

あ、ありがとうなのじゃ主様あっ♡

心底感謝じゃ、稲穂ッ♡いや、奥方様ッ♡

余、立派なオナホになりゅっ♡なりましゅうゝ ～ッ♡

おお、御角様がわっち風情を奥方様と！？

流石は坊じゃ、お射精だけで下克上♡

嬉しすぎるゆえ、もっとオナホをコキ使っても。

積極的に見逃して差し上げるのじゃあ♡

おゝ ッおゝ ッ！？おゝ ～ッ♡

あ、主様ッ♡もう入らぬッ♡

余のややこ部屋、ご馳走様なのじゃあっ♡

のほおゝ ッ♡ご、ごめっ♡

ごめんなさいなのじゃあゝ ～ッ♡

余、黙って乳蜜ばかり嘔きつつオナホしゅるっ♡

ゆるしてっ♡たちゅけっ♡

のオゝ ッ♡ほおゝ オゝ ～ンッ♡

6 ささ、主様に奥方様♪余には構わず、もっとイチャラブを.....贅沢にご堪能し過ぎなのじゃあっ♪

うむ、稲穂。

あ、間違えたのじゃ奥方様。

カメラとやらは、アレでいいのかのう♡

よいのじゃ、御角様。

では、坊♡

ふ、ふああんっ♡

角ッ♡嬉しいのじゃっ♡

このような恥ずかしい。

奥方様に、相応しく破いて頂いたっ♡

ズタボロ神衣から、粗相も幸せもたっぷりいっ♡

わっちの耳もっ♡

撫で撫でおもらし、最高なのじゃっ♡

つ、続いてえ♡

余は無駄に背丈が有る故♡

教えて頂いたエロ蹲踞で、主様より頭を低くしてえ♡

ちょうどよい大きさの、わっちについては立ったまま♡

えへっ♡天界のカミ。

我が配下どもよ、見ておるかや♡

余、竜神なんぞ止めるのじゃっ♡

この人の子様♡

主様の、オナホとなるのじゃっ♡

ほれ、ピースなるぞっ♡

わっちもびいす♡

そして坊よ、証拠をお見せするのじゃあ♡

もおゝ ～ッ♡

うゝ もおゝ ～ッ♡

乳蜜でりゅっ♡

坊に搾ってもらうの、幸せ過ぎるのじゃあ～ッ♡

こ、このようにい♡

余はもう、乳揉みだけで乳蜜どっぴゅん♡

もはやオナホ以外の何者にもなれぬよう♡

全身舐けて頂いてしもうたっ♡

わっちは嫁じゃが、同様にい♡

坊のややこを、愛情たっぷりに産み続けるだけの存在なのじゃ♡

貴様らも、じきにオナホとして貢いでやるゆえ。

大人しく、しかして激しく。

まんこほぢくりつつ待つがよい♡

こ、これでいいのかの♡

主様、奥方様あ♡

うむ♡

良いんじゃが、ちょっとやりすぎかもしれぬの♡

よく考えてみれば、天界に御角様が帰らぬと。

色々問題が有るんじゃないかのう？

ああ、心配するでない。

数百年前から、天界を回しておるのは余の分霊じゃあ♡

御簾の後ろにおられたの。

御角様の偽物だったのかやっ！？

うむ♡

まあ、余の指先ほどの力しか持つておらぬかの？

じゃが十分。むしろ、過分なほどじゃ。

貴様ら他のカミを全て合わせたよりも、あれの方が余程に強いぞよ♡

うむ、坊よ。

わっちら、とんでもないことをしたと。

改めて実感したのじゃあ。怖いじゃ。

あと、前から聞いたかったんじゃが。

御角様に、不可能なことって有るのかの？

考えたことも無いぞよ？それよりほれ♡

余をオナホとして、首尾よく貢いだご褒美をじゃな。

主様に賜らねばならぬのじゃないかの、奥方様よ♡

ンッひいゝッ♡

ひ、ひっくい声でお子種くれると♡

囁くのは反則なのじゃ、坊ッ♡

思わず、乳蜜噴いてしもうたあ♡

ふ、フヒッ♡

余も聞いてしもうた♡

あまりの威厳に、乳蜜が止まらぬぞよ♡

じゃが、余はオナホじゃし？

まず主様、次に奥方様♡

お二人の、珍宝とややこ部屋の御都合が優先じゃて♡

オナホ如きは、お零れで十分♡

さ、存分に子作りを楽しむがよい♡

あゝッひいゝ〜ッ♡

ち、違うのじゃ主様ッ♡

奥方様先っ♡オナホ後ッ♡

余が珍宝を恵んで頂くわけにはっ♡

にゅふふ、硬いことを申すでない御角様♡

坊は御角様に、ややこを仕込みたい気分なんじゃ♡

ほれ、乳首を抓られ乳蜜嘖きつつ、腰を抜かし。

坊のオナホとしての義務を、果たすのがよいのじゃ♡

モオゝ ～ッ♡

あゝ アゝ ッ♡ひょおゝ～ッ♡

おゝ ～ッ♡おゝ ッおゝ ッ♡

これらめっ♡主様あつ♡

真正面から抱き着かせ、どちゅどちゅするのは奥方様の特権ッ♡

余の如きオナホ風情が、堪能らめっ♡

心が痛み、まんことややこ部屋が嬉しいのじゃッ♡

もおゝ ～ッ♡

仕方ないじゃろ、御角様♡

何せ、坊がそうしたいと申すのじゃから♡

じゃが、そうじゃのう。ならばこうするのじゃ♡

坊のお口は、わっちが接吻で塞いじゃうのじゃ♡

御角様はそのまま、坊にコキ使って頂き幸せばかりを叫ぶがよい♡

ちゅっ♡ちゅっちゅっ♡

んふ、坊♡ああ、坊♡ちゅっ♡

あゝ ヒおゝ ヒッ♡

うゝ ッひいゝ いゝ ～ンッ♡

い、稲穂ッ♡女狐ッ♡

この奥方様めえっ♡

ちゅっちゅっ♡はむはむ♡

えへへ、坊♡乳蜜も飲むかや？

接吻に集中したい？ もう♡んぢゅぢゅっ♡

おゝ ～ッ♡

っ、角までムカつくのじゃっ♡

美味しいトコばかりそれかやっ！？

ついに余も、お口で接吻できると思うたのにつ♡

ややこ部屋ばかり、珍宝の先っぽと過酷なる接吻ッ♡

あゝ ッごめっ♡

どちゅどちゅ嬉しいっ♡

嬉しいのじゃアゝ ～ッ♡

うるさいのじゃ御角様♡

黙らずオナホになっておれ♡

ほれ坊♡

もっと角を掴んで押し付け、デカイ乳を潰してじゃな♡

オナホの自覚を乳蜜として搾りつつ。

ややこ部屋を思いっきりどちゅどちゅするのじゃ♡

モオゝ ～ッ♡

あゝ ツイぐっ♡イッてりゅうゝ ～っ♡

悔しいのにつ♡

余、幸せばかり感じちゃうのじゃっ♡

壊れりゅっ♡

オナホの本懐果たしちゃうゝゝ ～っ♡

そして、ちゅっ♡

ほれ、もっと舌を出すがい♡

嫁のわっちと接吻しっつ。

オナホな御角様を贅沢にコキ使ってえ♡

最高に心地よい、坊しか満喫できぬワガママお射精♡

存分に堪能するのじゃぞ♡よいな♡

んふ、やっぱり笑顔がかわゆいのう♡

では、ちゅ～しっつびゅ～なのじゃっ♡

んちゅっ♡んちゅちゅっ♡

おゝ ツヒョオゝ おゝ ～っ♡

こ、子種汁うっ♡なんという勢いっ♡

奥方様しゅごっ♡

余じゃ勝てぬって、ややこ部屋の底からわかつちゃうのじゃっ♡

あゝ ツあゝ ツごめっ♡

主様♡主しやまの子種汁の方がしゅごっ♡

のほおゝ ♡やぶけりゅっ♡

ややこ部屋が破裂しちゃうゝゝ ～っ♡

ん〜ちゅっ♡

えへ〜坊♡今日も沢山出せたのう♡

えらい、えらい♡

やっぱり坊は、最高の益荒男様じゃて♡

では、次こそ♡

わっちの嫁まんこで、愛情たっぷり子作りじゃ♡

え？その前に、古い子種汁を御角様にコキ捨てておきたいとな？

わっちには常に、新鮮で濃厚な物ばかりを与えたいとなっ♡

しょ、しょうがないのお〜♡あと十発だけじゃぞ♡

ほれ、そうとくれば御角様♡

さっさと腰を振らぬか♡

う、うう♡余、もう限界と申したのにい♡

かわゆかった稲穂が、とんでもないド鬼畜狐に仕上がっておる♡

あゝ 〜ッ♡あゝ 〜ッ♡

しゅ、しゅまぬっ♡

もう余、奥方様の悪口ッ♡

言わぬっ♡言わぬからっ♡

おゝ おゝ っひいゝ いゝ 〜ッ♡

は、反省の証にっ♡

もっとオナホなりゅから許して欲しいのじゃあっ♡

おゝ ヒッ♡おゝ アゝ ッ♡

おゝ ッおゝ ッヤベッ♡

主様のお怒りッ♡

どちゅどちゅちゅよいつ♡

ちゅよ過ぎるのっほおゝ〜ッ♡

ちゅっ♡ちゅっ♡

もう、ダメじゃぞお御角様♡

そしてよいのじゃ、坊♡

もっとオナホを、わからせてやるがよい♡

愛しておるぞ♡

カッコイイ♡

いつまでも、どこまでも♡

大大大、だあい好きじゃぞ♡

ちゅっ♡

おゝ オゝ ャ♡へえゝ エゝ 〜ッ♡